

# 小平市公共施設マネジメントニュース

平成30年11月号

## 第1部 第1回 中央・小川デザインカフェ ～次の世代の施設を考えよう～

将来の人口減少、少子・高齢化など、公共施設を取り巻く環境が変化する中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取組む公共施設マネジメントを推進しています。

中央公民館・健康福祉事務センター・福祉会館・西部市民センター・小平元気村おがわ東の複合化など基本計画の策定を、市民参加で進めています。

中央・小川デザインカフェ（ワークショップ形式）では、参加者同士でリラックスした雰囲気の中、中央公民館周辺エリアと小川駅周辺エリアの各テーマについてアイデアを出していきます。

市では、市民参加などを経て平成31年秋を目途に新しい公共施設に関する基本計画を策定する予定です。

### 【参加状況】平成30年11月10日（土）

① 中央公民館周辺エリア：中央公民館 講座室2	10時～正午	19名
② 小川駅周辺エリア	：小川西町中宿地域センター 集会室	14時～16時 16名

### 【中央デザインカフェ】

会場の様子



テーマ：中央公民館周辺の未来を想像しよう

全体進行：これまでの経過説明を行った後、グループごとに4つのワークテーマについて意見交換やアイデアを出し、グループごとに発表を行いました。

ワーク①：エリアの良いところ・得意なところを考える

ワーク②：エリアの嫌いなところ・苦手なところを考える

ワーク③：20年度後のエリアを考える

ワーク④：エリアの未来を3要素にまとめる

※進行の都合によりワーク③・④は同時に検討

### 【小川デザインカフェ】

会場の様子



テーマ：小川駅周辺を見つめよう

全体進行：これまでの経過説明を行った後、グループごとに2つのワークテーマについて意見交換やアイデアを出し、グループごとに発表を行いました。

ワーク①：3つの機能（図書館・広めの多目的室・公民館）に求める要素を考えよう

ワーク②：4つの機能（3機能＋行政機能（出張所機能））の共存のあり方考えよう

参加者の主な意見は裏面にまとめていますので、ご覧ください。



## 参加者の主な意見

### 【中央デザインカフェ「中央公民館周辺の未来を想像しよう」】

#### 1 ワーク①「エリアの良いところ・得意なところを考える」

- ① 様々な機能がエリアに集まっているため、利用しやすい。
- ② 小平市の真ん中に位置しているため、様々なところから人が集まることができる。
- ③ ホールは、講演会などに活用する人にとって使いやすい。
- ④ 中央公民館西側の駐車場が広く、駐車可能台数が多い。
- ⑤ 自転車で行きやすい。
- ⑥ 川にメダカがいたり、木々が生い茂るなど自然に囲まれている。

#### 2 ワーク②「エリアの嫌いなところ・苦手なところを考える」

- ① 施設利用者の横のつながりが少なく、施設同士の連携もあまりない。
- ② 公民館に雑談するスペースが無い。
- ③ 発表の場が少ない。
- ④ レストランなど飲食する場が少ない。
- ⑤ バスが少ないなど、車でないと移動しにくい。
- ⑥ 駐輪場が少ない。

#### 3 ワーク③・④「20年後のエリアを考える・エリアの未来を3要素にまとめる」

- ① 高齢者と若者が会話できるような場を増やしてはどうか。
- ② 市民が芸術など文化を発信することができる場を増やすなど、文化の香りがするまちを目指してはどうか。
- ③ 道路整備といったインフラ関連の整備が進み、移動が円滑になるのではないかな。
- ④ 鉄道などが撤退するなど想定したまちづくりを考えるべきではないかな。
- ⑤ 子育てしやすく、高齢者が運動による健康維持ができ、福祉が充実したまちになると良いのではないかな。
- ⑥ 屋上緑化など、環境に配慮したまちを進めていくことが良いのではないかな。

### 【小川デザインカフェ「小川駅周辺を見つめよう」】

#### 1 ワーク①「3つの機能（図書館・広めの多目的室・公民館）に求める要素を考える」

- ① 広場をはじめ、どこでも本を読むことが可能で、何かに特化した図書館であると良い。
- ② 新しい施設にはカフェ併設もしくはお酒を呑めるスペースを設けてはどうか。
- ③ 民間事業者が賃貸するような場を設け、賃料等を得るなどしてはどうか。
- ④ 個人が居場所を感じ、学生、高齢者、子育て世代など多世代が集まることができる場を設けてはどうか。
- ⑤ 200人～300人程度収容可能な規模の多目的なホールを整備してはどうか。
- ⑥ 市民の力が発揮でき、ボランティアが活躍できる場を設けてはどうか。
- ⑦ コワーキングスペースのように仕事可能なスペースと託児機能を設けてはどうか。

#### 2 ワーク②「3つの機能と行政機能のあり方を考える」

- ① 教育と福祉関係を融合させ、将来の行政を担うような人材を育成することはどうか。
- ② 今後、小川エリアが市の中心となる可能性もあり、総合窓口や出張所機能など市民の利便性が向上する整備を行うことはどうか。
- ③ 標識など、市民の立場に立った表示にすることが大切である。
- ④ やりたいことができる場、わくわくするような楽しい場、市民とともにつくっていく場を設けてはどうか。
- ⑤ 機能同士が連携するようなイベントなどを実施してはどうか。

第1部は、12月2日（日）と12月22日（土）にテーマに沿って開催し、まとめを行います。テーマなどは小平市ホームページをご覧ください。  
<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/kurashi/071/071682.html>



【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課

〒187-8701 小平市小川町 2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513

メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp